学校運営協議会を開催

１１日（木）第２回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が開催され、一中ブロック（西小・一中）の学校経営等の中間評価や情報交換を行いました。

会議では、まず学校の様子をスライドで観ていただき、そして各校長から上半期の具体的な取組状況を説明しました。その後、各委員さんから、質問やご意見をいただき、成果や課題等を明らかにしました。情報を一部紹介しますので、各家庭でも話題にしていただいて、魅力ある学区を目指して、ともに力を合わせていきましょう。

地域活動推進委員の方々からも、ご参加をいただき、活動報告をしてもらいました。

- 西小、一中ともに能代のよさに触れる機会を設けてくれているのがよい。子どもたちも伸びている。
- 文部科学大臣表彰がうれしい。不読率が１００％で、これからも読書活動の充実を図ってほしい。
- 児童生徒数の減少に伴ってスポーツ少年団や部活動等はどのようになっていくか、見通しを教えてほしい。子どもの多様な選択を大切にしながら学校から地域での活動に移行していくのではないか。
- ＩＣＴの活用については、子どもたちの様子から高校より小中学校の方が進んでいる印象がある。
- 一中の学校都市改革、校則の見直しなど、どちらの学校も自治的な活動を大事にしているのがよい。委員として、変わりつつある、これからの学校の在り方に関わることで、勉強になっている。
- 再開された教育活動の様子をもっと知りたいので、学校報やＰＴＡ会報を今後も届けてほしい。

学習状況調査CBT化！

全国学力・学習状況調査のCBT（パソコンを使用した試験方式）化に向けた試行に６年生が挑みました。早ければ2025年度の中学３年生から導入されるとのことでしたので、６年生は、中学校では、タブレット端末を使って解答することになります。CBT化にあたっては、すでにCBTで実施されている学力調査や試験等の事例等も参考に、今年度から全国で試行・検証が行われており、渟城西小６年生は、今回、実際に体験させていただきました。試行の成果と課題については、今後分析をされ、よりブラッシュアップされた調査に仕上がっていきます。

真剣に取り組めました。満点も含めて、高得点者も多数おりました。

種苗交換会に行って来ました。

５年生は、農作業体験とねぎの販売活動を立志記録にまとめ、種苗交換会in能代の学校農園展に出品しました。会場見学では、自分たちの活動の様子を振り返るとともに、農家が丹精込めて育て上げた農作物などに触れることで、秋田県農業の魅力や底力を感じとっていました。

子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業

４日（木）元NHK歌のおねえさんと東京アカディミックアンサンブル ドレミファソ（代表七澤英貴）の皆さんによる公演が開催されました。各楽器の紹介、教科書にある名曲、アニメソングの演奏や歌唱に加えて、ボディパーカッションもみんなで行いました。プロの演奏に、心踊る時間となり、西っ子からは「楽しかった。また聴きたい。自分も演奏したい。西小の校歌を聞いて、いい曲だと思った。」などの感想が聞かれました。